



国際ロータリー第2800地区

鶴岡西ロータリークラブ

地区方針

「ロータリーに夢を持って 行動しましょう！！」

第2615回例会

2023年1月23日(月)

会場: グランドエル・サン

◆会長 辻 博智

◆幹事 佐藤 正晴

会長挨拶



先週末より寒波が入って来ており明日、明後日は日中の最高気温が-4度の予報が出ており今シーズン一番の冷え込みが予想されています。県内でも3年ぶりにインフルエンザの流行の兆しも見えているようですので皆様体調管理には十分にお気をつけください。

年齢の教え方には満年齢と数え年齢で数える場合があります。現代では数え年による年齢は主に、神社での「厄払祈願」「厄除祈願」「七五三詣」等で使用され、通常は満年齢を使用する事がほとんどです。

ロータリアンの方々は経営側の方が多いので仕事をするうえで年齢はあまり考える必要はないと思いますが、勤め人の方には「定年制度」があります。基本的には満年齢で運用されていると思います。私が社会人となった昭和50年代の定年は55歳が一般的でした。昭和44年に放送が始まった「サザエさん」のお父さんの波平さんは54歳で、あと1年で定年を迎えるという設定でした。私も来月で58歳になりますのでとうに定年を迎えていることになります。

この定年の制度は日本特有の制度のようで、世の中に定年制が定着したのは昭和初期のようです。この時の定年は55歳でした。その後日本人の平均寿命が延びてきたことや、少子化等の問題により1986年(昭和61年)高齢者雇用安定法の改正により60歳定年の努力義務化が制定されました。この時点では「努力義務化」でしたので、55歳定年の会社は少なからず残っていたようです。37年前までは55歳で定年を迎える方がいたことが少々驚きです。その後、

1990年(平成2年): 定年後再雇用を義務化

1994年(平成6年): 60歳未満定年制を禁止(1998年施行)

1998年(平成10年): ようやく60歳定年の時代が始まりました

今から25年前の事です。その後、年金受給開始時期の見直しなどもあり、

2000年(平成12年): 65歳までの雇用確保措置を努力義務化

2004年(平成16年): 65歳までの雇用確保措置を義務付け(2006年施行)

2012年(平成24年): 希望者全員を65歳まで継続雇用する事を企業に義務付け(2013年施行)

わずか11年前の出来事です。少子高齢化、国民皆年金制度を維持していくために、政府は定年年齢をこの30年で10歳も上昇させたことになります。

今後は年金受給開始年齢がさらに引き上げられる可能性もあり70歳定年制も視野に入れながら「生涯現役社会」とも言われてきています。近い将来定年制廃止なども検討されるかもしれません。しかしながら現状で日本の中小零細企業では全員を同じ条件で70歳まで雇用可能かと言われれば無理があります。欧米やアメリカでは定年制はないけれども企業側に解雇する権利が認められており、アメリカのAmazon 1万8千人が解雇され、マイクロソフト社でも1万1千人の解雇が計画されているようです。景気の動向をみながらある程度雇用を調整することができます。

良い人材には長く働いて活躍してもらいたいのですが現実では簡単な問題ではないと思います。企業の人材不足、年金問題等これらの問題を解決するためには、少子化問題が解決し就労人口が爆発的に増えるしかないのですが、今から対策しても少なくともこの先20年はかかることです。異次元の少子化対策を検討している国には本気で対策をしてもらいたいと思います。

幹事報告



渡部 芳幸 幹事代理

- ・ハイライト米山274 下期普通寄付のお願い
- ・次年度テーマ幕のお願い
- ・タラ汁例会 庄内ざっこ 1月31日(火曜日)
18:30~ 火曜日です。ご注意ください

誕生祝い

12月 齋藤 浩子 君



年男会員スピーチ

早坂 剛 君



2023年 1月 年男(卯年) スピーチ

少々季節がずれましたが あけましておめでとうございます。昭和14年(1939年)5月21日に誕生し83歳になりました。戦後の昭和21年4月に小学校に入学し現在に至っております。

卯年生まれのスピーチですが、鶴岡西RCに入会して38年となり1997-98年 33代会長を務めました。その時の幹事は同期の墨井富士男君にお願いしました。墨井君が1月

21日早朝にお亡くなりになりました。同期がまた一人減ってしまいました。中学・高校と社会人になってからまたお付き合いをしておりましたが残念でなりません。邦楽器屋さんは近年まで営業しておりましたが、高齢化と邦楽器を楽しむ人びとが減少したことが廃業の原因でした。

卯年にあたり新聞の記事から取り上げたのですが、童謡では木の根につまづいたり、のろまの亀と駆け比べ遅れをとったりする今年の干支のウサギは、あまり自分にとっては良い印象はあまりなかったのです。しかし仏教ではひとときわ気高い存在で輝きを放つ存在で<今昔物語>が伝えております。

疲れ果てた年寄りが修行中のウサギ、キツネ、サルの前に現れ「養ってほしい」と頼むと、サルは木の実を、キツネはお墓のお供え物を差し出したが、ウサギは何も得られず、そこで火を焚き待っているように告げ、手ぶらで帰ってくるなり、その火の中に踊り入りわが身を老人に捧げたのです。老人は帝釈天の身にに戻りすべての生き物に見せるためにウサギの姿を月に移したと結ばれております。

これは究極の慈悲と利他の行いを教えております。私たちの日常においても現在の世界も、誰かしらの善行と犠牲の上に成り立っていることを忘れてはいけないのではないのでしょうか。卯年にあたり特に印象に残ったことを申し上げます。

ゲスト

鶴岡RAC 板垣 沙織 さん



鶴岡RAC50周年式典のご案内
2月25日(土) 13:00~
東京第一ホテル鶴岡

ニコニコBOX

・早坂 剛 君

クリスマス家族例会、渡部吉春さん88歳のお祝いでLUNAをご利用いただきありがとうございました。墨井富士男君のご冥福をお祈りします。

ビジター

鶴岡東RC 杉山 隆 君

本日の出席	会員数	30名	出席数	23名	出席率	85.19%
前々回の出席	出席率	85.19%	修正出席者数	25名	確定出席率	83.33%